

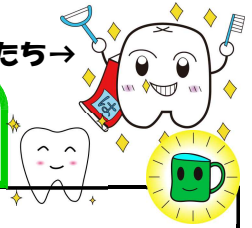
熊本県大津町立大津南小学校



☆地域紹介☆

大津町は熊本県中北部に位置する場所にあり、西には熊本市、東は阿蘇、南に熊本空港、北に菊池市があります。学校の周囲は田園風景が広がり、緑豊かな全校児童205名の小規模校です

本校オリジナル
キャラクターたち→



【研究主題】

児童が自主的に考え、実践する歯と口の健康づくりの推進

取組1：健康診断の効果的な実施と健康教育への結果の活用

[令和3年度]



- 歯科検診の結果説明**
町の歯科衛生士が、健康診断票を見ながら一人一人に結果を説明。
- 治療勧告を年3回配付**
治療や検査の必要な児童に夏休み前、冬休み前、春休み前に治療勧告書を配付。令和3年度の最終的な受診治療率70.3%だった。

令和3年度、夏休み前、冬休み前、春休み前に治療勧告書を配付。令和3年度の最終的な受診治療率70.3%だった。

[令和4年]

- “歯のカルテ”作成**
全学年、歯科検診結果をもとに、一人一人“歯のカルテ”を作成。



自分の今の歯・口の状態を知り課題を把握し、今年の保健教育に活用。

- 治療勧告を4回配付予定**

夏休み前、秋休み前に配付。今後冬休み前と春休み前に治療勧告書を配付予定。

取組2：各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との連携を図った指導

[令和3年度]

○ゲストティーチャーを迎えての保健教育

- 1年生「大人の歯を大切に育てよう」(学活)
- 2年生「歯にやさしいおやつとり方」(学活)
- 3年生「動物と人間の歯の違い」(総合的な学習)
- 4年生「かむことの大切さ」(学活)
- 5年生「歯と口のけが予防」(保健)
- 6年生「歯・口の健康を守る生活習慣」(学活)



[令和4年度]

○取組の方向性再検討

単なる知識を与える学習ではなく、自分自身の「歯・口の健康」について課題を自覚しその課題解決のために考えたことを友だちと交流しながら意思決定を行い、それが個々の日常の行動化につながるような保健教育を全職員で共有してすすめている。

第2学年 特別活動「のぞいてみよう、じぶんのは」【学級活動(2)】

<p>単元の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歯科検診の結果や歯の染め出しの結果を通して、自分の歯の状態に気づき、歯と口の健康保持増進のためにできることを理解する。 ○自分の生活上の課題に気づき、どうすれば課題の改善ができるかを導き出し考え、自分ができることを実践しようとするときに、自分で決めたことを日常生活につなぐことができる。 	<p>課題を見つける力</p> <p>①「歯のカルテ」の作成</p> <p>自分の歯の状態を知る。</p>	<p>課題を解決する力</p> <p>② 意思決定に至るまでの学習活動の工夫</p> <p>赤って何だろう？ 減らすためにはどうする？ これから確認したいことは？</p> <p>T: 赤い所は何かな？ O: 白い歯にならなくて赤い歯に思っています。 C: 歯の上の厚みも赤い所がある。 D: 歯を磨いていない所だと思えます。</p>	<p>次の学びにつなげる力</p> <p>③ 2回目の染め出し実施 前回の染め出しとの比較。</p> <p>一人一人の意思決定</p> <p>○: 歯の磨き方がよくなりました。 ○: 歯の磨き方をちゃんと学びたいです。だって、私の前歯が赤かったからです。</p>
---	--	---	--

新たなためめ・課題の設定へ
夏休みの歯みがきカード

取組3：学校、家庭及び地域社会と連携した学校歯科保健活動

[令和3年度]

○町の歯科衛生士の個別のブラッシング指導

給食後にいつも通り歯みがきをした後に、歯科衛生士がみがき残しをチェックし、全児童に個々に合ったみがき方を指導。



○学校保健委員会の開催



児童の歯と口の実態と今年度の取組について学校歯科医やPTAと一緒に共通理解。

[令和4年度]

○おうちではっぴかデーの取組

毎月8の付く日を「はっぴかデー」と称し、家族一緒に夜の歯みがきの呼びかけ。

○教育講演会実施予定

講師に歯学博士で、国立モンゴル医科・科学大学客員教授の岡崎好秀先生をお迎えして、全校児童、保護者を対象に講演会を開催予定。
(令和4年11月2日開催予定)

